

# 平成28年度第1回南島原市総合教育会議会議録

1 日 時 平成28年5月27日(金) 9時00分～10時45分

1 場 所 南有馬庁舎 2階会議室

1 出席者の氏名 教育委員長 坂上三徳  
教育委員 岩永里美  
教育委員 塩田絹代  
教育委員 近藤孝信  
教育長 永田良二  
市長 松本政博

1 構成員以外の出席者の氏名

|                  |      |
|------------------|------|
| 副市長              | 山口周一 |
| 教育次長             | 渡部博  |
| 教育総務課長           | 山崎康徳 |
| 学校教育課長           | 本多正興 |
| 生涯学習課長           | 林田充敏 |
| スポーツ振興課長         | 泉淳一郎 |
| 文化財課長兼世界遺産登録推進室長 | 松本慎二 |
| 教育総務課総務班長        | 荒木一弘 |

1 会議次第

(1) 市長あいさつ

(2) テーマ

①教育支援の充実について

②学力の向上に関する施策について

③学校の統廃合について

(3) 次回の総合教育会議について

松本市長

皆様、おはようございます。

まず、先日発生しました熊本地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様方へお見舞いを申し上げます。

本市から被災地への主な支援についてですが、職員を4月21日から5月15日まで菊池市へ6名、5月13日から19日まで宇土市へ2名を派遣し、避難所運営の補助、救援物資の仕分け、り災証明書発行等の業務を行っております。今後も職員の派遣は、随時実施する予定であります。

また、熊本市からの要請によります、震災ごみ回収業務支援や、市民の方からお預かりいたしました義援金、救援物資につきましても被災地へお届けいたしております。

1日も早い被災地の復興をお祈りいたします。

さて、本日は平成28年度第1回南島原市総合教育会議のご案内をいたしましたところ、大変ご多用な中、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

日頃から坂上委員長をはじめ、教育委員の皆様には、南島原市の教育の振興並びに発展のため、多大なるご尽力をいただいていることに対しまして、厚くお礼を申し上げます。

総合教育会議も2年目を迎えますが、委員皆様からのご意見を十分にお伺いし、本市の教育振興のための施策につなげていきたいと考えております。

今回は、「教育支援の充実について」、次に、「学力の向上に関する施策について」、最後に、「学校の統廃合について」の3つのテーマを設定させていただきました。本市の現状と課題、方策などについて、委員皆様の忌憚のないご意見を賜りたいと存じます。

今後も、「総合教育会議」を通じて、より一層、教育委員の皆様方と連携を深め、南島原市の教育のさらなる発展・充実に向けて努力して参りたいと思っておりますので、委員皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

はなはだ、簡単ではございますが、開会のあいさつといたします。

松本市長

それでは、第1回「南島原市総合教育会議」を開会いたします。

テーマ第1「教育支援の充実について」を協議いたします。

この件について、坂上委員長からご発言をお願いいたします。

坂上委員長

まず、松本市長には、日頃より本市教育委員会への深いご理解とご高配を賜り感謝しております。

私は、通級型こころの教室「つばさ」の充実について発言させていただきます。

この通級型こころの教室「つばさ」は、現在市内に2か所設置されており、開設以来、不登校などの問題を抱えた子どもたちがここに通い、希望の学校へ進学できた例もあり、大変有意義なものだと考えております。

そこで、「つばさ」の教育環境をもっと充実することが出来ないかという強い思いがあります。

現在設置してある「つばさ」は、整備、掃除がされてずいぶん良くなっておりますが、まだまだ、教育環境としては、改善の余地があると考えております。

そこで提案なのですが、学校の統廃合も進み、使用されていない校舎もありますので、そのような施設を活用したらどうかと思います。

例えば、南部方面では、国道から近い旧吉川小学校はどうかと思います。

一方、東部方面では、現在の旧堂崎小学校木場分校は、環境面では良いと思いますが、やはり、地理的に分かりにくい面があります。

保護者が送迎をするのにも国道からも広域農道からも距離があります。

その点、旧布津小学校第一分校は、国道からも近く、通学の負担軽減につながるのではないかという思いがあります。

子どもの通学、保護者の送迎の負担を考えると、「つばさ」の移転の検討も必要なのではないでしょうか。

もちろん、廃校の利活用については、地域でも検討されており、それとの兼ね合いもあるとは思いますが、何とか改善出来ないかという思いで、提案させていただきました。

松本市長 今、坂上委員長より、通級型こころの教室「つばさ」の充実についてご発言をいただきました。

「つばさ」の役割と重要性については、私としても充分認識しております。

坂上委員長 北有馬の「つばさ」では、家庭科として料理もするのですが、今の施設では実施できず、北有馬保健センターに移動して実施している状況だということ です。

近藤委員 心の教室では、この調理実習は、教育的に非常に有効だと思います。

献立、食材を買いに行き、作って実際に食べる行為は、非常に効果があったと聞いております。

なお、閉校式時に旧布津小学校第一分校に伺ったときに、非常にきれいな施設であり、地理的にも利便性が高いと思いますので、「つばさ」の移転については、私としては賛同したいと思います。

塩田委員 最近ますます、学校へ行きにくい、学校で過ごすことがつらい子どもが増えていると思いますので、そういう子どもたちを、「つばさ」で対応されていることは、大変ありがたいことだと思います。

学校でも教育委員会でもそういった子どもに対して、応援をされているということは、大変素晴らしいことであり、坂上委員長がおっしゃったように、「つばさ」の活用をもっと出来るような環境の整備を図っていただくことは、大変重要であると思います。

岩永委員 確かに、調理実習の度に、施設を移動しないといけないというのは不便だと思いますので、これが解消できるなら良いことだと思います。

旧布津小学校第一分校は、施設的に充実しており、これを活かせばという気持ちもあります。

永田教育長 今、委員皆様から頂きましたご意見を参考に、学校施設跡地利活用検討委員会と相談しながら、子どもたちの学びの環境が改善できるよう、ぜひ検討してみたいと考えております。

教育次長 検討中ではありますが、確かに委員皆様が言われたとおり、旧布津小学校第一分校は、第1候補と考えております。

学校施設跡地利活用検討委員会でも、ぜひ教育委員会で活用したいと思表示しているところでもあります。

旧有家小学校木場分校におきましても、整備をして開設しておりますが、確かに立地条件としては、検討の余地もございます。

さらに現在、「つばさ」は、市内に2か所開設しておりますが、統合等

の見直しをして、派遣をする形を導入してはどうかという意見もございませので、今後教育委員会内でも検討を重ね、改善案をお示し出来るようにしたいと思ひます。

松本市長　　この件については、教育委員会事務局も前向きに検討しておりますし、私としても重要なことと考えております。  
派遣とは具体的にどのようなやり方ですか。

教育次長　　例えば、「つばさ」を1か所に統合し、そこから、施設相談員が既存の社会教育施設（例えば公民館等）へ出向き、開設、指導をするやり方です。  
限られた相談員を2か所に分散して配置している点における効率的な指導、活動方法も検討していく中で、過去にもオアシスセンターの1室を借りて、指導相談業務を行った経緯もありますので、今後こういった事例も検証しながら、どのやり方がいいのかを検討して進めていきたいと考えております。

坂上委員長　　今、1か所に統合する案も出されましたが、良い案だと思います。  
指導員同士の意思疎通、方向性など統一化も十分図れると思ひます。

松本市長　　今まで提案されたご意見を十分に参考としながら、今後、環境改善に向けた取り組みをするよう事務局にお願いしたいと思ひます。

永田教育長　　先日の県教育委員会での会合の折にも、今年度4月から「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行され、今年度から本格的に対応する必要があることを説明されました。  
本市では、この点でも先行して取り組んできましたが、今後も共通理解を深めていく必要があると思ひます。  
この中で「合理的配慮」というキーワードがありましたが、障害を持つ人にとって学ぶ環境が整備されることが必要だということです。  
保護者と学校と教育委員会が合意形成をはかり、施策として取り組んでいくこと、さらに就学指導委員会が教育支援委員会へとなり、入学時だけでなく、義務教育中の9年間、ずっと支援していく体制をとっていくことが求められるということです。  
教育支援の充実というテーマで、この点も大きな課題となってくるので、ご紹介させていただきました。

松本市長　　これで、テーマ第1「教育支援の充実について」の協議を終了いたします。  
次に、テーマ第2「学力の向上に関する施策について」を協議いたします。  
この件について、岩永委員からご発言をお願いいたします。

岩永委員　　子どもたちの「学力の向上」、「自立する力」を育てるため、教師の力だけでなく、家庭の力、地域の力と連携・協力しあい、子どもの成長を支える体制が作れないか、昔ながらの地域の大人が子どもに話しかけ、いろいろサポートする体制をもっと作っていけないかと思っております。

永田教育長　　先日の県教育長のあいさつの中で、こんなことを言われました。  
「点数にこだわりたい」、「結果にもこだわりたい」と強い語気で話されました。

裏を返せば、長崎県の学力が低迷しているということではないかと思えます。

確かに「生きる力」には広い意味での学力も内在していると思いますが、本市の算数や数学、英語といった教科の学力については、低迷していると言わざるを得ない状況にあります。

学力向上については、この県教育長の言葉を引用し、各学校長へ取り組むよう指示したところであります。

本市では、競争が激化するという一方で、学校毎の情報を公開しておりませんが、具体的には、厳しい状況であるということです。

全体で危機意識を持って取り組んでいくべき課題だと考えております。

塩田委員

同じく、学力の低迷については、保護者としても認識しております。

先生方も努力されていると思いますが、保護者としても「どうしたら学力が向上できるのだろう」と悩んでいらっしゃると思います。

実際に南島原市として今までどのような対応をされてきたのか、お伺いしたいと思います。

また、市内の県立高校に進学する生徒も減っているという現実について、とても残念に思っております。

地域の高校が活性化するというのは、地域にとっても必要ですし、子どもたちのためにも良いことだと思います。

子どもたちにとって、あこがれを持って受験できる地元の高校があるということは、とても幸せなことだと思いますし、子どもたちが受験したい、通学したい魅力ある高校があるということは、子どもたちのモチベーションも上がり、並行して学力も向上していくのではないのでしょうか。

松本市長

ただいまのお二人のご提案で、学力向上に関することと、高校進学に関することが出ましたので、大きな意味では同じテーマとなりますが、分けて考えていきたいと思えます。

学校教育課長より、学力向上の施策について説明してください。

学校教育課長

私どもとしましては、やはり、小学生の時期に、しっかりと学びの習慣をつけることが大切だと考えております。

子どもたちの学力を高めるための施策としましては、ICT機器を導入することにより、わかりやすい授業をめざし、小学校へ学年毎に導入しているところをございまして、今年度は、2・3年生が対象となり、ICT機器の導入については、県内でもかなり充実している状況であります。

それから平均点を上げるためには、出来ない子どもたちの底上げをしないといけませんので、教育支援員などを70名配置しており、これについても、県内でもかなり充実しているところをございます。

さらに英語の学力向上のために、本市には、現在ALTが6名おりますが、今年度さらに3名程度増員を図りたいと考えております。

現状と主な取り組みとしましては、以上です。

永田教育長

地元の高校への進学率の低さは、憂慮すべき問題と思えます。

県教委でも、島原半島の高等学校について、注視しておられる印象でした。

地元高校の定員割れの問題は顕著であり、私立学校への進学、市外の県立高校への進学など、いろいろな要因がありますが、進学や就職も含め、地元高校のメリット、魅力をもっと発信していかなければならないですし、中学校でも、地元高校の魅力を紹介していく必要があるかと思えます。

また、学力の向上についてですが、まず学習時間が少ないということが挙げられます。

やはり学習時間の確保と学力の向上に相関関係があることは、いろいろな調査結果からも言われております。

小学校での社会体育活動、中学校での部活動などの休みの確保についても検討していく必要があります。

近藤委員           やはり、地元の高校には、進学や就職などの出口指導にもっと力を入れてもらいたい。

これもひとつの特色、魅力にもつながりますし、英語教室などのさらなる活用など、何か学校の特色を出していただきたいと思います。

中学校に出向いてのPR活動も、もっとやってもらえたらと思います。

塩田委員           いろいろな高校のホームページを見させていただくと、学校生活では、こんなことをやっている、卒業後は、どのような方面に進学、就職して活動しているなどの情報がたくさん掲載されているところもあります。

学校説明会やホームページ、広報紙などで、もっと子どもたちにも保護者にも地元の高校に行ってみたいと思わせるようなPRをいただければと思います。

山口副市長       確かに、情報発信は大切なことだと思います。

一番大切なことは、自分たちの学校が、どのような特徴があって、どういう子どもたちを求めているか、まずそれをわかりやすく発信しないといけないと思います。

そういう点では、大学ではパンフレットを作成し、オープンキャンパスをやったりと、ありとあらゆる手段でPR活動をやっています。

松本市長           皆さんから、地元の高校に関するいろいろな熱い思いを述べていただきました。

また、学習時間の確保について、スポーツと勉強の両立を図れるように関係者の皆さん方で、しっかりと構築していただければと思います。

坂上委員長       学力向上についてですが、やはり家庭学習の時間が少ないと思います。

子どもの自主学習の習慣づけが大切で、低学年のうちから、毎日、10分でも20分でも机に向かって勉強する習慣をつけさせる。これをしっかりやらないと、自主学習の習慣がつかないままに高学年になってしまう場合も多い。

このような自主学習をつけさせるために宿題を与えるのは、やはり必要なのではないでしょうか。

近藤委員           低学年への宿題は、特に必要だと思います。

生活態度は問題ないが、学習時間が少ない子が多いという話をよく聞きます。

子どもに将来の夢を持たせて、それを実現するためには、学力が必要だということ、そのためには勉強が必要だということ、またその成果を褒めてやったり、解る喜びを子どもたちに体験させる。

こういった担任の指導で、子どもの勉強時間は増やすことが出来ると思います。

松本市長           学力の向上に関し、いろいろなご意見、ご考察があるかと思います。

今後も、南島原市の子どもたちの学力向上に努めていかなければなら

いと考えております。

松本市長　　これで、テーマ第2「学力の向上に関する施策について」の協議を終了いたします。  
次に、テーマ第3「学校の統廃合について」を協議いたします。  
この件について、坂上委員長からご発言をお願いします。

坂上委員長　　学校の統廃合に関し、学校施設跡地の利活用について発言したいと思っております。  
現在、セミナリヨ版画展が開催され、毎年すばらしい作品が応募されていますが、その作品をいつでも鑑賞できるように常設展示が出来ないかと思っております。  
南有馬地区が統廃合し、白木野小学校を活用してはどうかと思っております。  
白木野地区は、特に北村西望先生の出身地でもありますので、常設展示と共に、観光客が立ち寄るような施設、さらに、焼き物の釜を設置したり、アトリエを設置したり等、例えば、芸術家を目指す若者が滞在できるような芸術の里づくりなど出来ないものではないでしょうか。  
過疎化が進んでいく中で、地域住民にとっても、あるいは、外からも魅力ある地域づくりをやっていかないといけないという思いでおります。

松本市長　　坂上委員長からご提案いただきましたが、良い案だと思います。

近藤委員　　セミナリヨ版画展の作品は、大変すばらしく、以前10回までの大賞作品30点をお借りして、原城図書館長時代に、原城図書館でやったことがあります。  
最近では、全国から優秀な作品が応募されておりますので、展示しないのは、もったいないと思っております。  
貸出でも良いと思っておりますが、特別展示、常設展示が出来ればすばらしいことだと思っておりました。

松本市長　　この点について、生涯学習課長はどう思いますか。

生涯学習課長　　展示につきましては、昨年度分がコレジオホールで展示いたしまして、さらに雲仙ビードロ美術館、さらに今年度になり、長崎県美術館で展覧会を開催し、やっと作品が返却されてきたところであります。  
過去にも、市内では、公民館や学校での展示であったり、ありえ蔵巡りで特別展示をやった事例もあります。  
このように今までも広く、市民の皆さんの目に触れるように展示をやってきておりますが、セミナリヨ版画展については、実行委員会を組織しておりまして、その実行委員会の中でも、常設展示を検討して欲しいという要望もあっておりましたので、廃校の利活用が出来ないか内部で検討を進めております。

松本市長　　それぞれのテーマで、いろいろな意見を出していただきました。  
これらを十分受け止めて、南島原市の教育行政にしっかり繋げていきたいと思っております。

松本市長　　これで、テーマ第3「学校の統廃合について」の協議を終了いたします。  
次に、3「次回の総合教育会議について」を協議いたします。  
次会の総合教育会議において、協議すべきテーマ、また、開催時期等に

ついて、ご意見があれば伺いたいと思います。

松本市長       ご意見がないようですので、今後ご意見を伺いながら、会議を開催したいと思います。

                  これからも本市教育行政の推進につきまして、ご尽力とご協力をお願いいたしまして、本日の南島原市第1回総合教育会議を閉会いたします。

                  ありがとうございました。

閉    会           10時45分